

令和3年度 暮らしに役立つ学習講座 アンケートの集計

現地参加10名中5名、オンライン参加20名中8名の方から回答をいただきました。

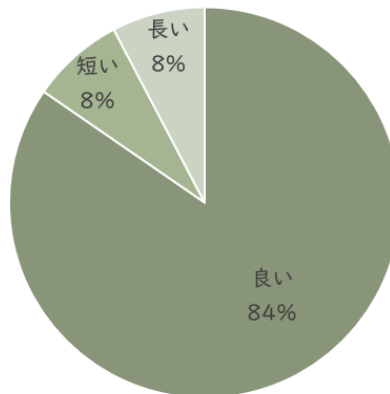
アンケート調査の概要といただいた主な意見をご紹介します。

ご協力ありがとうございました!!

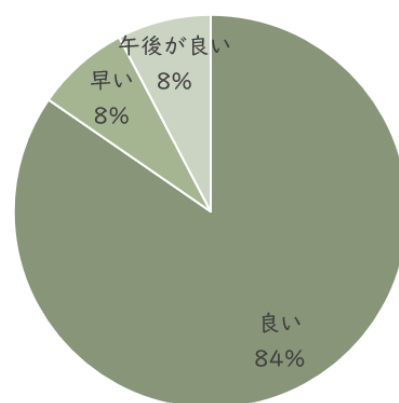
1 日時について

- ・今回に限り、午前と午後に分けて遠隔とリレーサービスの時間を設けた方が良かった。
- ・ちょうど良かった。
- ・2時間の中にたくさんのことを詰めすぎたと思う。体験するなら、あと30分位必要だった。
- ・いつもの時間帯と同じなので良かった。

1 日時「募集期間」



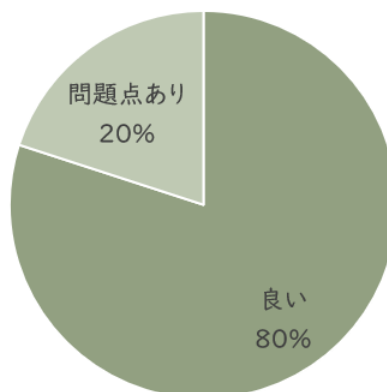
1 日時「時間帯」



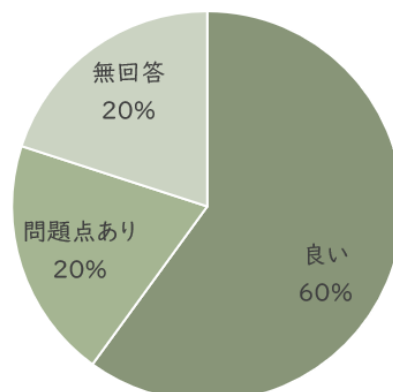
2-1 会場について <会場参加者より>

- ・見やすかった。
- ・(スタッフ等が)三密でなかったか。

2 会場「全体」



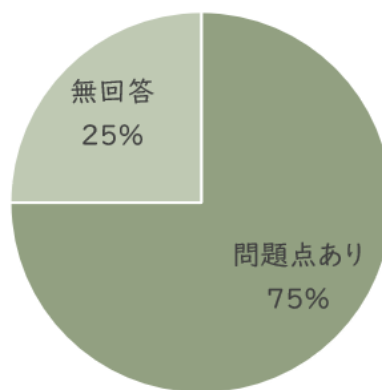
2 会場「見やすさ」



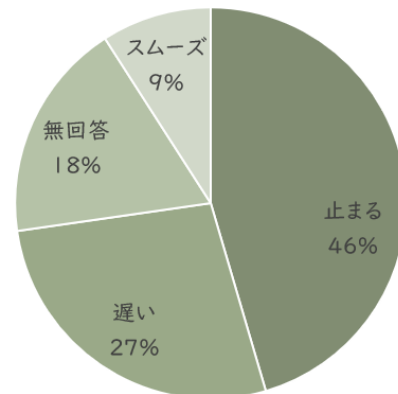
2-2 オンラインについて <Zoom参加者より>

- ・音声に時々エコーがかかり聞き取りにくいことがあった。
- ・短時間だが数回フリーズした。
- ・時々音声も途切れることがあった。
- ・開催時間の1/3くらいは画面が固まったり、映像が遅れたりするなど良い内容だっただけに少し残念だった。
- ・映像は大丈夫だったが音声がときどき聞こえないときがあった。

2 オンライン「全体」



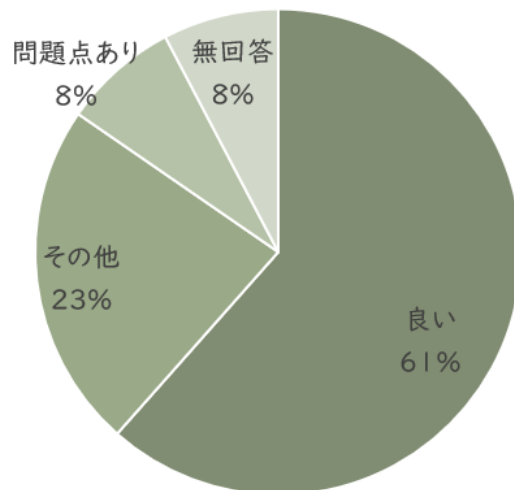
2 オンライン「画面の状態」



3 講義「遠隔手話通訳等の端末利用」

- ・分かりやすかった。
- ・担当者が十分に理解できていないのでは?と思うこともあった。
- ・青森県における手話通訳・要約筆記の利用についての概要は理解できたが、市町村と派遣事業委託先の流れが分かりにくかった。まだまだ検討課題が多いのではないか。
- ・今年異動になったばかりの方なので分からないのかもしれませんが、質問にひとつも答えてもらえないのは残念だった。
- ・県の機器・場所だけの提供は、設置通訳者のいる遠方は不便。遠隔手話の想定がコロナ関連のみを対象だと更に利用は難しい。

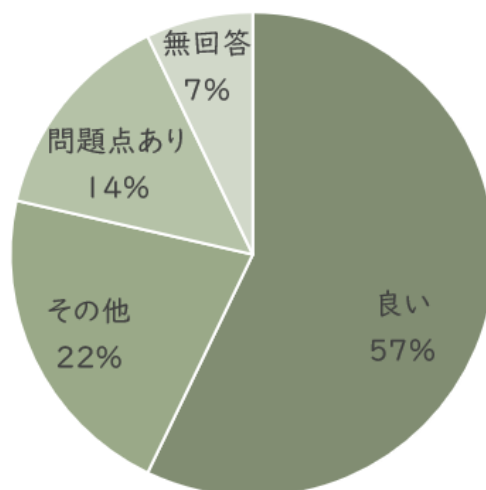
3 講義「遠隔手話通訳等利用端末」



4 講義「電話リレーサービス」について

- ・もしいつか、何かあったときに使いたいと思って学んだ。
- ・途中から見たので分からない。
- ・QRコードを載せた資料をもらえて良かった。
- ・パンフレットにイラストはあったが動画ではオペレーター役が出ていなかったので、電話をかける側と受ける側のやりとりはわかっていても、どのように通訳(仲介)されているのかわからなかった参加者(聴覚障害者)もいた。
- ・いろいろな場面での動画を見て便利さはわかった。電話をかけたときの最初のオペレーターとのやりとりを知りたかった。
- ・情報センターに来たら教えるとありましたが、遠方地域の人には不便。講義の中で説明してほしい。
- ・電話をかける側、受ける側と共に慣れる必要があると思った。

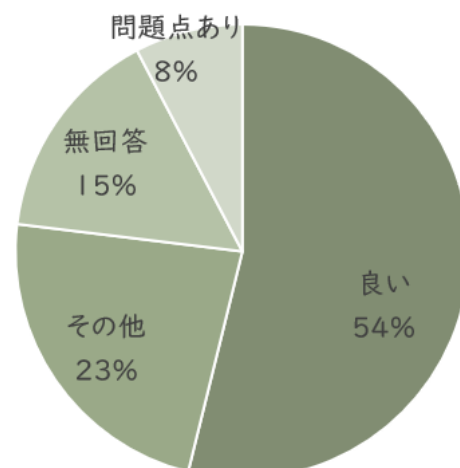
4 講義「電話リレーサービス」



5 体験「遠隔手話通訳等の端末利用」について

- ・病院で使えたら、医者の方が分かりやすくなる。
- ・通訳者に音声が届いていなかったり、マイクの切り替えが上手にいかなかったりすることはあったが、その点が解消されると特に問題はなかったと思う。
- ・病院設定のロールプレイは大変わかりやすかった。通訳者として対応する場合の具体的な問題点も確認することができた。
- ・画面がずっと固まっていたので分かりづらかった。
- ・通信状況が大切。音声途切れても気づかないときなどの対応など、その場にいたときは身振りを大きくして気づいてもらうことが、画面からだ気づかないこともあるのでは?と感じた。

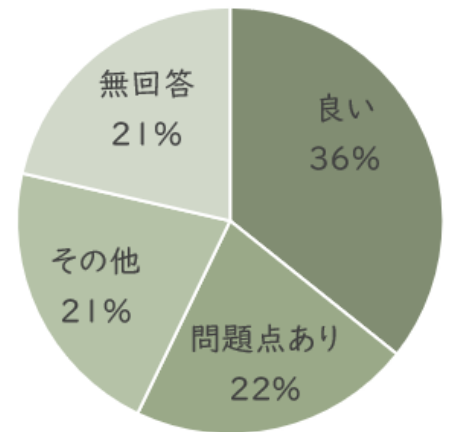
5 体験「遠隔手話通訳等の端末利用」



6 体験「電話リレーサービス」

- ・便利だと思う。
- ・実際のサービスを疑似体験できたのでよかった。
- ・電話をかける側(自分)とオペレーターの2者だけだったので、「4」と同じくわかりにくかった参加者もいた。
- ・イラストでもロールプレイでも良いので、3者が見える形で提示があると初めての人には分かりやすいと思う。
- ・ほとんど画面が固まっていたデモンストレーションを確認することができなかった。
- ・実際にどこかにかけてみたほうがイメージしやすかったかも…。
- ・受ける側の様子も体験で見たかった。
- ・オペレーターの顔が分からなからぬのでイメージしにくい人もいたと思う。

6 体験「電話リレーサービス」



7 その他何でも…(自由記述)

- ・様々な関係者を巻き込むこと、体験することができ、全体を見ることができた。非常に勉強になった。
- ・手話通訳のわかりやすい人と読み取りにくい部分がある人がいた。
- ・講義と体験の両方があって良かった。
- ・機材等の調整や通訳などのため、人の出入りが多く見ていて少し落ち着かなかった。
- ・質疑応答でリレーサービスと遠隔手話通訳を混同している方がいたので、そういうところをわかってもらうことも大事だと思った。
- ・今度は、リレーサービスと遠隔それぞれにもっと時間をかけてまた学習の機会を作ってほしい。
- ・Zoomでの参加だったが、現場、要約筆記、手話とそれぞれの画面分けて見やすく違和感なく楽しく参加できた。動画への切り替えもスムーズで見やすかった。勉強になった。
- ・アンケートにはあれこれ書いたが現場では機材の準備やらなにやら大変だったと思う。
- ・担当者の方の大変さが伝わってきた。お疲れさまでした。

■主催者(センター)からのコメント

この度の学習講座は、会場への参加とオンラインによる参加を組み合わせた「ハイブリット」形式を初めて採用しました。

スタッフ一同は、機器の接続や当日の運営に努力しましたが、初めての「ハイブリット」形式ということもあり、音声や映像の支障のほか、様々な課題に直面しました。

また、「電話リレーサービスにおけるオペレーターをもっとわかりやすく」、「遠隔手話通訳・要約筆記における検討課題」などのご指摘もいただきました。

さらには、「もっと学習の機会を設けてほしい」、「質問にも回答してほしい」などのご意見もいただきました。

今後は、これらの意見や要望を受け止めて、より良い学習の機会設定や当センターの各種の講座や事業にも活かしていきたいと考えています。

みなさまの声を参考に次回に向けて準備をすすめていきます。ありがとうございました。